

令和元年度版

長崎県中学校総合体育大会
運営に関わる
危機管理マニュアル



長崎県中学校体育連盟

県中総体における対応にていて（夏季大会）	1
県中総体における対応にていて（秋季大会）	2
県中総体における危機管理・避難等について	3
駅伝競走大会の緊急時の対応について	5
地震発生時の対応	7
弾道ミサイル落下の全国瞬時警報システム（Jアラート）が鳴った場合の対応	8
令和元年度長崎県中学校総合体育大会における熱中症事故の防止について（お願い）	9
各競技部 熱中症事故防止の対策	11

参考資料

練習・大会における暑さ対策等について（日本中体連より）	13
環境省 熱中症予防情報サイト	14
熱中症・台風に関わる県中総体の対応について	15
H30県中総体2日目（29日）一部日程等変更について	16
H30県中総体台風に伴う態度決定資料	17

県中総体における対応について（夏季大会）

（申し合わせ・確認事項）

1 各競技の実施（大会要項参照）

大会期間中、実施可能な競技のみ実施する。ただし、実施不可能な競技が生じた場合は、大会本部（主催者）・開催地（主管地）及び競技部長・専門部で協議の上決定する。

2 開始直前・途中の緊急な対応

- （1）各競技の現地での待機・中断については、競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、競技部長が決定する。また、競技によっては可能な限り監督の意見を聞くものとする。ただし、決定後直ちに大会本部（会長）に報告すること。
- （2）各競技の中止・延期については、競技部長・専門部（審判を含む）・開催地（主管地）と協議し、大会本部（会長）が決定する。

3 各競技会場内での運営上の対応

- （1）競技会場内での事故（負傷・急病・器物破損・生徒指導上の問題等）についての対応は、競技部長・専門部・開催地（主管地）で協議し、競技部長が決定する。ただし、事後電話ならびに文書（所定の様式）にて大会本部（会長）に報告すること。
- （2）重大な事故等については、大会本部（会長）の判断を求めること。

4 各競技における審判上の問題

- （1）審判上の問題については、審判長の判断に任せるものとする。
- （2）記録に残すべき抗議等の内容については、専門委員長がまとめておき、事後報告すること。

5 その他

- （1）上記に示されていない事項については、関係者で協議し、最終的にはそれぞれの責任者の判断により対応するものとする。
- （2）事故（負傷・急病）の対応については、救護担当を中心に対処し、その後の経過・措置状況を十分把握しておき、誠意をもって対応すること。

県中総体における対応について（秋季大会）

（申し合わせ・確認事項）

1 開会式および競技の実施（大会要項参照）

開会式の雨天時の態度決定は、大会本部（主催者）・専門部（場合によっては競技部長含む）・開催地（主管地）が協議の上、大会本部（会長）で決定し、5：30までに各郡市町中体連に連絡する。

荒天時の場合の競技実施は、大会本部（主催者）・競技部長・専門部及び開催地（主管地）で協議の上決定する。

2 開始直前・途中の緊急な対応

- （1）開会式の中止・中断、会場・実施方法の変更等については、競技部長・専門部が開催地（主管地）と協議し、大会本部（会長）で決定する。ただし、基本線については事前に協議しておき、各郡市町中体連の了解を受けておく。
- （2）競技の待機・中断・中止・延期については、競技部長・専門部（審判を含む）・開催地（主管地）と協議し、大会本部（会長）が決定する。競技再開方法については、別に定める（駅伝競走大会の緊急時の対応について）。

3 競技会場内での運営上の対応

- （1）競技会場内での事故（負傷・急病・器物破損・生徒指導上の問題等）についての対応は、競技部長・専門部・開催地（主管地）で協議し、競技部長が決定する。事後、文書（所定の様式）にて大会本部（会長）に報告すること。
- （2）重大な事故等については、大会本部（会長）の判断を求めること。

4 競技における審判上の問題

- （1）審判上の問題については、審判長の判断に任せるものとする。
- （2）記録に残すべき抗議等の内容については、専門委員長がまとめておき、事後報告すること。

5 その他

- （1）上記に示されていない事項については、関係者で協議し、最終的にはそれぞれの責任者の判断により対応するものとする。
- （2）事故（負傷・急病）の対応については、救護担当を中心に対処し、その後の経過・措置状況を十分把握しておき、誠意をもって対応すること。

県中総体における危機管理・避難等について

1 全国瞬時警報システム（Jアラート）が鳴った場合の対応

（1） 緊急地震速報

- ① 試合等、生徒たちの動きを止める。
- ② 会場内外の役員、観客にも身を守るよう伝える。
- ③ 安全な場所へ避難させる。

（2） 弾道ミサイル発射

- ① 競技を中断する。
- ② 近くのできるだけ頑丈な建物や地下に避難させる。

安全が確保された上で、教育委員会・大会本部・開催地（主管地）中体連・競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、大会本部（会長）が再開を決定する。

2 光化学オキシダント・PM2.5の警報・注意報等発令時の対応

開催地の健康被害防止措置に応じて、開催地（主管地）中体連・競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、競技部長の判断で競技の中断等の対応をとり、被害の防止に努める。

3 雷雲発生時の対応

雷鳴や雷雲が近づき危険と判断した場合、屋外では競技を中断し、選手、役員、観客を安全な場所へ避難させる。

4 不審者の対応

会場に、不審者対応（注意）に関する張り紙をする。また、試合の前後、合間にアナウンスで注意喚起する。

不審者と判断した場合は、退去を求める。退去しない、もしくは、再び侵入した場合は、危害を加える恐れがあると判断した場合、選手、役員、観客を安全な場所に隔離し、110番通報する。

5 緊急時対応のため専門部・開催地（主管地）中体連の事前準備

- （1） 開催地が定めている気象関係の警報・注意報等発令時の対応を確認しておく。
- （2） 警報・注意報等が発令時に速やかに周知できる連絡体制を整備する。
- （3） 会場の担当者との事前打ち合わせを行う。
- （4） 大会会場の避難経路を確認する。
- （5） AED設置場所を確認しておく。
- （6） 緊急時の専門委員の役割分担を確認する。
- （7） 大会出場者（引率者）・大会役員・補助員等への事前連絡を行う。

※ AED設置場所や避難経路については、できるだけアナウンス等でも周知する。

6 競技の再開について（上記1全国瞬時警報システム（Jアラート）が鳴った時を除く）

競技中断後は、警報等が解除され、負傷者等の有無を確認・処置を行い、会場の安全が確認された上で、競技部長・専門部（審判を含む）で協議し、競技部長が再開を決定する。

不審者警戒中

- 声をかけさせていただくことがあります。
- 不審な方や大会運営に支障をきたす恐れのある方には
ご退場いただく場合があります。
- 場合によっては、110番通報させていただきます。



皆様のご理解とご協力をお願いします。

長崎県中学校体育連盟

駅伝競走大会の緊急時の対応について

1. 全国瞬時警報システム（Jアラート）発令時による対応について

（地震情報・津波情報・弾道ミサイル情報など）

- （1） 全国瞬時警報システムが発令時は即座に競技を中断する。競技を中断するためには、アナウンサーによる緊急放送と競技役員からの指示で競技を中断する。
- （2） メッセージを確認して、状況に応じて非難する。
（地震の時は、グラウンドの中央へ。弾道ミサイルは頑丈な建物へ。）
- （3） 行政の指示に従い、実施不可能の場合は大会を延期する。安全が確認できたら競技を再開する。

2. 豪雨による対応について

記録的な豪雨（警報発令）が当日から降っている場合、大会本部（長崎県教育委員会・長崎県中体連・同駅伝専門部・開催地・主管地中体連）で参加選手関係者の安全・競技役員の安全を考え実施不可能と判断した場合、大会予備日への延期を決定し、当日5時30分までに各郡市町中体連に連絡する。

3. 地震による対応について

- （1） 全国瞬時警報システム（Jアラート）の発令を伴わない地震の発生では、走路の亀裂・倒木・地滑り等、競技に支障を及ぼすような被害がなければ競技を実施（継続）する。
- （2） 競技の再開が困難と大会本部（長崎県教育委員会・長崎県中体連・同駅伝専門部・開催地・主管地中体連）で判断した場合は競技を中止する。
- （3） 競技を再開する場合は、次の点を考慮し大会本部（長崎県教育委員会・長崎県中体連・同駅伝専門部・開催地・主管地中体連）が決定する。
 - ① 余震の恐れがない。
 - ② 走路の亀裂・倒木・地滑り等、競技に支障がない。

4. 落雷について

地震についての対応に準ずる。

5. 競技再開方法について

全国瞬時警報システム（Jアラート）発令時や雷注意報が発令され、危険と判断した場合は中断。全チームの走者が走り終わっている区間のタイム差で、中断時の次の区間を中継点からスタートして再開する。

例 パターン①全てのチームにおいて3区の走者が競技中に中断した場合

再スタートは4区から。2区のタイム差で時差スタートする。

パターン②2区と3区にまたがってレースが行われている際に中断した場合

再スタートは4区から。1区のタイム差で時差スタートする。

パターン③-1

1区の競技中の中断の場合

2区一斉スタートで競技を再開する。

③-2

1区と2区にまたがってレースが行われている際に中断した場合

3区一斉スタート

パターン④最終区競技中の中断の場合

その時点で競技終了する。

6. 成績について

- (1) パターン④で競技を終了した場合には、最終区の中継順で順位をつける。最終区へ中継が完了していない場合は、その前の中継順で順位をつける。

例) 女子の場合

5区への中継が3校終了し、残り29校は4区が競技している場合に競技終了

1位～3位は、5区への中継した順位とする。

4位～32位は4区に中継した順位とする。

- (2) 中断し、競技を再開した場合には、中断した区間の個人成績はなしとする。

7. レース途中で緊急時の対応を行った場合

上記「5. 競技再開方法について」「6. 成績について」を定めてはいるが、レース中断後（安全が確保された場合）に、臨時の評議員（各郡市町中体連会長）・理事（各郡市町中体連理事長）会を開き、下記内容を専門部と協議し、大会本部（会長）が決定する。

- (1) 可能な限り、延期日に1区からの再レースを実施。

- (2) (1)の場合、オーダーについては原則変更を認めない。災害によるケガ等で出場できない場合は会の承認を得る。

その他、延期日にレースが実施できなかった場合においても、離島部のことを考えると安易に再延期を決定できないため、臨時の評議員・理事会を開き協議することとする。

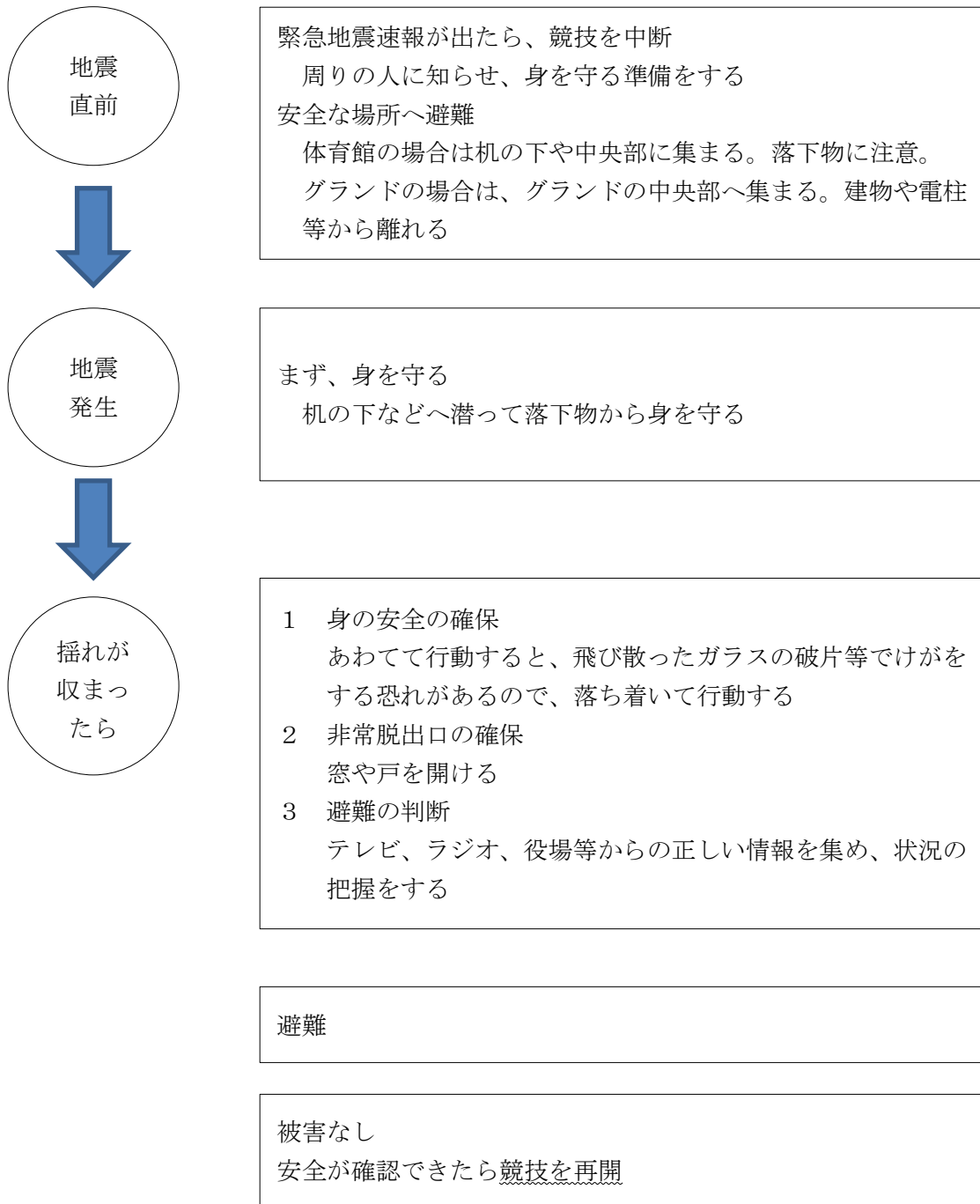
また、災害に伴い、不測の事態が発生した場合も同様とする。

※ 今年度はこの案で対応してみて、反省、課題等がでた場合は次年度に活かしていきたい。

地震発生時の対応

長崎県中学校校体育連盟

1 地震発生時の初動マニュアル



消防庁 地震防災マニュアルより

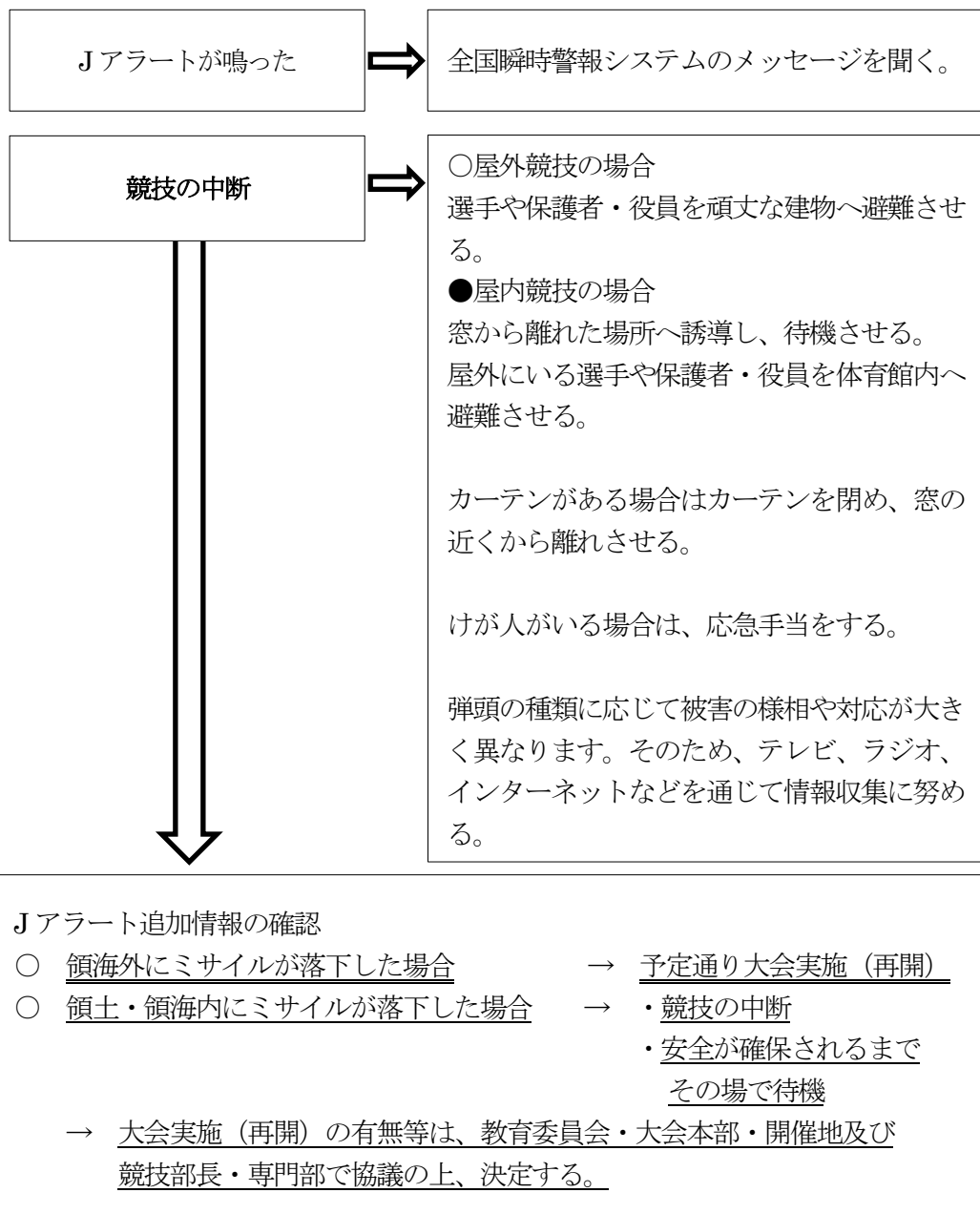
弾道ミサイル落下の全国瞬時警報システム（Jアラート）が

鳴った場合の対応

(1) 大会前（当日の朝など）

- ① その時にとれる避難行動を行う。
- ② Jアラート追加情報の確認
 - 領海外にミサイルが落下した場合 → 予定通り大会実施
 - 領土・領海内にミサイルが落下した場合 → 自宅または宿泊施設待機
→ 大会実施の有無等は、教育委員会・大会本部・開催地及び競技部長・専門部で協議の上、決定する。

(2) 大会中



令和元年 7 月 4 日

各 郡 市 町 中 体 連 会 長 様
関 係 中 学 校 長 様
各 郡 市 町 中 体 連 理 事 長 様
長 崎 県 中 体 連 専 門 委 員 長 様
応 援 保 護 者 (関 係 者) 様

長崎県中学校体育連盟
会長 吉田和久
(公 印 省 略)

令和元年度長崎県中学校総合体育大会における熱中症事故の防止について (お願い)

日頃から本連盟の諸行事にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和元年度長崎県中学校総合体育大会が7月27日(土)から29日(月)の3日間、長崎市・佐世保市・諫早市・大村市・西彼杵郡の各会場で開催されます。参加する中学生にとって思い出に残る大会となるよう、多くの方々のご協力をいただきながら現在準備を進めております。

その中で、今年度も昨年度に引き続き熱中症事故防止の対策を講じる必要があると判断いたしました。本連盟としては下記のとおり、対策の一案を示させていただきます。例年の慣習にとらわれることなく、競技部、主管地をはじめとした各郡市町中体連と十分に協議しながら、生命、安全を第一に大会を運営していきたくと考えております。

つきましては、大会に参加する生徒、役員、応援者等すべての関係者におかれましても、熱中症事故防止に向けたより一層の対策を講じていただくとともに、熱中症事故防止のための大会運営へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

【大会運営に関すること】

- 開会式・閉会式を実施しない。
- 大会に参加するすべての関係者に対し、涼しい服装や帽子着用、十分な飲料水、冷却用品の持参など、最大限の熱中症対策を行うよう事前に周知する。
- 生命、安全を第一に守ることが基本。競技規則の一部変更や、ゲームの流れを変えてしまうことにもなるかもしれないが、競技会場の環境や気象状況から判断し、選手・審判・補助員等への水分補給や休息時間の確保及び会場の換気や散水などを行う。
- 試合開始時間や終了時間の変更の検討。2日目は参加校の了承がとれれば、早い時間に開始することも可能と考える。また、大会期間中、試合を中断せざるを得なくなった場合、どうしても終了時間が遅くなることが予想される。出場校の出発時間や帰着時間を考慮しながら検討する。
- 場合によっては、試合時間の短縮、一時中断、競技方法(ゲーム数を減らす等)の工夫を行う。
- 全国大会、九州大会の参加校(者)を決める大会である。優勝校を決めないといけない競技もあるが、2校九州大会出場の競技は、決勝戦を行わない場合もある。

- 全ての会場に経口補水液、塩分チャージタブレットを準備する。
- 競技部でも対策を検討（別紙参照）しているので、ご理解とご協力をお願いしたい。

【施設・サイト等に関すること】

- 可能な限り冷房のある休憩室を確保。
- 熱中症計の準備を県本部で行う。
- 環境省熱中症予防情報サイト等よりデータ収集と今後の予測の確認。

【応援に関すること】

- 応援者に対して、給水の呼びかけを放送や電光掲示板、案内プラカード等で行う。日陰に移動して休養することや大会本部に連絡することをアナウンスする。
- 他県の様子を見ると、応援生徒、補助員、応援保護者等の救急搬送が目立っている。寝不足、食欲不振、体調不良等が熱中症を引き起こす原因となるため、健康管理を十分に行い、そのような状況の場合は無理して応援にこない、こさせない。

【お問合せ先】

長崎県中学校体育連盟事務局

理事長 原田 誠

☎ 095-800-2112

各競技部 熱中症事故防止の対策

注) 試合時間の短縮等の対策は、あくまで(案)であり、試合当日の状況をみて原本部と専門部で話し合い、監督会議等で決定をする。

〈陸上競技〉	<ul style="list-style-type: none"> ・ こまめなアナウンスと電光掲示板を使った注意喚起（気象条件、水分補給など） ・ アップ会場として室内雨天練習場も開放 ・ タイムテーブルの変更（長距離種目を朝タの時間帯に実施） ・ 投てき、跳躍種目の待機場所を通路近くの日陰に変更、試合直前に競技場へ移動 ・ 3000mにおいては、競技中に水分補給ができるよう準備 ・ 電光掲示板でのこまめな注意喚起 ・ 水等の準備 ・ 水等の準備 ・ アナウンスでの水分補給の呼びかけ ・ 試合間を十分にとる ・ アナウンスでの呼びかけ（水分補給・気温湿度など） ・ 入館前入口待機の制限 ・ プログラムに『熱中症予防対策』『応急処置』などの啓発資料を差込み ・ 救護係に対応策として、氷などを準備してもらおう ・ 練習時間の短縮、休憩時間の確保
〈水泳競技〉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出場全チームに原本部より送付された熱中症についての資料を配布し、事前にできる準備をして大会に臨むようお願いする ・ 中学校体育館全会場に扇風機を設置 ・ 東部体育館では大会初日から空調を入れる ・ 会場で一会場あたりの試合数を減らしている
〈バスケットボール〉	<ul style="list-style-type: none"> ・ WTO（給水のためのタイムアウト）でこまめな水分補給 ・ 審判員は後部記録席に水分を準備、セット間に水分補給 ・ 線審（補助員生徒）は、タイムアウトやセット間など、座って休憩・水分補給 ・ 空調がない会場は、試合間を長めにとり、換気を行う
〈ハンドボール〉	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイムアウトカードを3枚使い切るよう促す ・ 前後半の途中に、1分間のテクニカルタイムアウトをとり、水分補給 ・ プログラムに記載した熱中症対策をこまめにアナウンス ・ 扇風機をできるだけ多くの場所に設置する
〈サッカー〉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷却用氷の準備 ・ 出場チームに熱中症対策を促すメール送信（選手・保護者に対して） ・ 緊急時は、隣接施設にて対応（空調が入っている） ・ WBGTが31を超えたら、15分おきにクーリングブレイクを3分とる ・ サイドライン際に水分の準備
〈軟式野球〉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4回終了時または試合開始後45分頃を目安に給水タイムをとる（5分以内） ・ 給水タイムの際には、全員がベンチに座って、給水を行うよう指導者に義務付ける ・ 1イニングが20分を超える場合は、一旦、給水タイムをとる（3分以内） ・ 投手及び捕手の水分補給のためのタイム申請はカウントしない（ただし、指導者の指示が行われた場合、カウントすることもある） ・ 監督会議や館内放送にて、水分補給等の熱中症対策を欠かさないように呼びかけ
〈卓球〉	<ul style="list-style-type: none"> ・ クーラーボックスに大量の水を準備
〈相撲〉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選手、観客用にテントを準備 ・ 適宜、塩をなめさせる
〈柔道〉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場内におけるこまめな注意喚起 ・ 個人戦、団体戦において試合が連続する場合は、3分間の休憩を入れる ・ 個人戦と団体戦の代表戦において、延長戦（ゴールデンスコア）が長引いた場合、1試合（3分間）分の試合が経過した時点で給水時間（1分間）を設ける

〈剣道〉	<ul style="list-style-type: none"> 個人戦、団体戦において試合が連続する場合は、3分間の休憩を入れる 個人戦と団体戦の代表戦において、延長戦が長引いた場合、給水時間までの時間の短縮（通常は開始後15分が経過した時点で給水時間を取る） 卓上型熱中症指数モニターを設置し、会場の状況を確認する 工業用扇風機をメインフロアに4台設置する 養護教諭、医療スタッフ等も熱中症への対応ができるように、準備をお願いしている 水の準備（応急手当用） 監督会議時に熱中症対策としてのプリントを配布し、十分な給水と休養を取らせるように周知徹底させる エアコンを常時かける（設定25度） これまでは競技場内のみエアコンを使用していたが、観客席にもエアコンを使用する 試合コート敷を増やすことにより、競技時間の前倒しをはかる 審判長または競技部長が必要と感じた時には、11点またはゲーム後のインターバルの延長を行うことがある（11点の時、通常は1分であるが2分 ゲーム後は通常は2分であるが3分） 試合間隔を通常は5分のところ10分にする 競技役員（駐車場係）については、最大9：30までの役目とする 観客には、エアコンの口をふさがないように呼びかける 競技役員巡回
〈バドミントン〉	<ul style="list-style-type: none"> 給水タイム（完全休息）の設定（4回終了時点、状況によっては3回、5回終了時点にて） 延長戦になった場合は、7回終了時点で給水タイムを設定 できるだけ帽子をかぶるよう促す
〈ソフトボール〉	<ul style="list-style-type: none"> 監督は選手・応援者に朝から健康観察を行い、生徒の健康状態を把握させる 開会式や競技中は選手・応援に関わらず帽子を着用させ、水分補給をこまめに行わせる 各チームにテント、水分や水の準備をさせる 各チームで応援者（特に1年生）には必ず配慮し、体調が悪い際の対応（宿舎に戻るや帰省するなど）をあらかじめ考えておくようにさせる クーラーボックス、うちわ、日傘（銀色などの反射しないもの）のコートへの持ち込みを許可する（ただし、熱中症対策として使用すること） 1ゲームごと、またファイナルゲームのチェンジサイズ時に水分補給を認める（試合前に水分を審判台下に置いておくこと） チェンジサイズのコーチングの際にはできざり選手を座らせて水分補給・休憩をとらせる 団体戦の応援については応援選手は必ず座って応援させる 応援選手も水分補給をこまめに行わせる 団体戦、個人戦ともに連続する試合は、休憩のために必ず10分あける（放送で開始時間をお知らせする） 当日の熱中症指数や進行状況に応じて、一斉に休憩をとる時間を設けることもありうる
〈ラグビーフットボール〉	<ul style="list-style-type: none"> 試合開始時間を9：30に設定 今年度より7人制 1日6分ハーフ、ハーフタイム3分 2日7分ハーフ、ハーフタイム3分としているが、状況によってハーフタイムを5分とする トライ後に給水を促す
〈空手道〉	<ul style="list-style-type: none"> 体を冷やすために、濡れたタオルを準備 練習会場に扇風機の設置 試合を続けて行う場合は、個人戦で5分（普通は90秒）、団体戦で10分（普通は5分）に休憩時間を延ばす
〈テニス〉	<ul style="list-style-type: none"> 両日ともに、試合が連続する場合は、15分間レスト（休憩）をとる チェンジサーブ時にも給水を可とする 当日の熱中症指数や進行状況に応じて、一斉にレスト（休憩）をとる時間を設けることもありうる 選手、応援生徒ともに帽子を着用させる 応援生徒については、座って応援させる チェンジサイドのレストの際、日傘の使用を可とする（ただし、色については、銀色は不可とする）

練習・大会における暑さ対策等について（案）

平成31年3月1日
（公財）日本中学校体育連盟

平成30年の新語・流行語トップ10に「災害級の暑さ」が選ばれました。地球環境の変化等により、この暑さは今年だけではなさそうです。来年以降の大会運営及び各校での練習における暑さ対策について検討し実践していくことが求められています。

本連盟では、課題検討委員会を中心として、情報収集、対策案検討、情報発信等に継続して取り組んでいきます。また、各都道府県中学校体育連盟及び各競技部との連携と情報共有を強め、下記の内容を中心として被害防止に努めていきます。

記

【日々の練習において】

◎指導者の経験だけに頼ることなく、最新の医・科学的な知識に基づいた指導に努めます。

1) 生徒たちに対し、小まめな水分補給、体調変化への気配り、無理に頑張りすぎないなど、下記の点も含めて安全に注意した指導の徹底を図ります。

- ・朝食、昼食をしっかり食べる。 ・睡眠を十分に取る。
- ・屋外競技では、帽子を着用する。

2) 指導者は気象情報等に注意するとともに、休憩時間の確保、水分補給への声かけ、生徒の観察などを十分に行い、個々の生徒に応じた対応に努めましょう。WBGT値によっては、活動を中止する判断も必要と考えます。

【大会において】

◎大会主催者として、熱中症及び怪我予防の観点からの大会運営に努めます。

◎選手・役員だけではなく、応援の生徒・保護者・観客など全ての人の安全確保に努めます。
〈選手・審判・競技役員等〉

1) 選手の生命・安全が第一です。競技規則等には給水の時間などが定められていない場合でも、会場の環境や選手の様子等から主催者・実行委員会・審判として給水や休息の判断をします。監督会議等において事前に説明をし理解を求めます。

2) 上記と同様に競技規則には明示されていない場合でも、競技会場等の環境や気象状況から判断し、審判・競技役員等への水分補給や休憩時間の確保及び会場の換気や散水など適切な判断を行います。

〈観客・応援者〉

3) 観客・応援者に対し給水の呼びかけを何度も放送や案内プラカード等で行います。帽子やタオル等で頭・首付近を覆うことの呼びかけも小まめにします。

また、気分が悪くなった場合は日陰に移動して休養することや大会本部に連絡することも呼びかけます。

特に1年生には、休憩時間の確保など細かな点も含めて、指導・注意する。

〈大会本部〉

4) 下記のような準備・注意に努めます。

- ・可能な限り冷房のある休憩室を確保
- ・WBGT値を測定する熱中症指標計を準備しデータの確認
- ・環境省熱中症予防情報サイト等よりデータ収集と今後の予測の確認
- ・救護体制の充実
- ・補水液、スポーツドリンク等の用意

【今後の検討事項】

1) 大会運営の在り方を検討します。

- ・大会時期、大会期間、出場チーム・選手数
- ・早朝及び夕方から夜間の活用

2) 関係競技団体、各競技部、各都道府県中学校体育連盟等での取組策収集や本連盟への防止策提案を求める。また、情報交換により一層努め、工夫・改善策を検討します。

3) 大会会場における救護体制の在り方について研究します。

4) 大会会場の環境整備の在り方について研究します。



熱中症予防情報サイト

カスタム検索

スマートフォン
はこちら

English

ホーム

お知らせ

※山形県沖を震源とする地震の被災地においては、梅雨に入り、気温や湿度が上昇している中での作業や生活環境等により、熱中症にかかる危険性が生じることが見込まれます。当該地域の暑さ指数(WBGT)を確認し、熱中症に注意してお過ごしください。

環境省から関係県の熱中症予防対策担当部局あてに発出した、被災住民の方等の熱中症対策についての事務連絡は、[こちら](#)をご参照ください。



7・8月は熱中症予防強化月間です

近年の酷暑を受けて、毎年7月に設定している「熱中症予防強化月間」を、昨年に引き続き今年も8月まで延長します。環境省では今年も、熱中症の予防法・対処法の普及啓発イベントを行います。詳細は、[下記ページ](#)をご覧ください。（[熱中症予防強化月間](#)）

[トピックス一覧](#)

お知らせ一覧

メンテナンス情報

お問い合わせ
TEL:045-450-5833 [平日 9:00~17:00]

◆アクセスの多いコンテンツ

今日 1日 10時 明日 2日 12時 明後日 3日 12時



実測値(℃)	
札幌	18.2
仙台	21.0
東京	25.2
新潟	24.6
名古屋	24.1
大阪	24.1
広島	25.2
高知	24.6
福岡	25.0
鹿児島	24.1
那覇	30.0

暑さ指数(WBGT)

- 暑さ指数(WBGT)の実況と予測
- 暑さ指数(WBGT)ランキング
- 暑さ指数(WBGT)とは?
- 生活の場の暑さ指数(WBGT)
- 暑さ指数(WBGT)について学ぼう

熱中症

- 熱中症関連情報
- シンポジウムのご案内
- 熱中症予防強化月間
- 普及啓発資料のダウンロード
- 関係省庁の取組について

暑さ対策

- まちなかの暑さ対策ガイドライン

参考資料

- 暑さ指数と熱中症発生者数
- 暑さ指数の強度集計ランキング
- 熱中症リスクカレンダー
- 暑熱環境測定事業
- 関連リンク

ご利用にあたって よくある質問 お問い合わせ サイトマップ

関連リンク



[関連リンク一覧](#)

熱中症・台風に関わる県中総体の対応について

長崎県中学校体育連盟

1 全般について

- ① 全ての競技別会場で実施を予定していた開会式を中止する。
※ 生徒の負担軽減のため（熱中症事故防止）。
- ② ただし、競技初日の競技開始時間は変更しない。

2 台風に伴う警報が発令された（発令されそうな）場合の態度決定について

- ① 午前11時までに警報が解除された場合 → 「競技実施」
- ② 午前11時に警報が解除されていない場合 → 「中止・延期」
※ ①②のいずれも、態度決定が行われるまで自宅、宿舎に待機する。
- ③ 試合実施途中で警報が発令されそうな場合は、県中体連と専門部が協議し、決定した内容を速やかに各郡市町理事長に連絡する。

3 態度決定の伝達方法について

- ① 県中体連ホームページのトップページ
- ② 県中体連 → 郡市町中体連 → 各学校 → 参加チーム
- ③ 県中体連 → 県専門委員長 → 競技部長・競技関係者
※ ①～③を同時進行で行う。

〈試合実施途中で警報が発令されそうな場合〉

- ④ 県中体連 → 県専門委員長 → 参加チーム
- ⑤ 県中体連 → 郡市町中体連 → 各学校
※ ④、⑤を同時進行で行う。

平成30年7月28日

H30県中総体2日目（29日）一部日程等変更について

長崎県中学校体育連盟

台風接近の恐れと熱中症対策のため、下記のとおり、一部競技において日程等変更いたします。

記

① ラグビーフットボール

3位決定戦 10:00開始 → 9:30開始に変更

決勝戦 11:00開始 → 10:30開始に変更

② ソフトボール

準決勝 10:00開始 → 9:00開始に変更

(2試合)

③ バレーボール

本来ならば、代表リーグ戦1回戦まで実施予定。場合によっては、2回戦まで行う可能性あり。

④ 軟式野球

本来なら、準々決勝4試合を行う予定だが、場合によっては、準決勝まで行う可能性あり。

※ ①②は決定。

※ ③④については、台風接近の状況を考えて、最終的には、当日（29日）判断する。バレーボールは9:00（予定）に会場で、軟式野球は監督会議で、それぞれ参加校に伝える。

H30 県中総体台風に伴う態度決定資料

○ 7/28 (土)

態度決定実施

佐世保 5:50 大村 なし 諫早 5:50 島原 5:50 長崎 なし

※ 諫早(軟式野球)、ソフトボール、サッカーから実施するとの連絡。

長崎県中体連 HP アップ(6:00)

☆ 明日の態度決定

台風接近の恐れと熱中症対策のため、下記のとおり、一部競技において日程等変更

長崎県中体連 HP アップ(21:30)

① ラグビーフットボール

3位決定戦 10:00開始 → 9:30開始に変更

決勝戦 11:00開始 → 10:30開始に変更

② ソフトボール

準決勝 10:00開始 → 9:00開始に変更

(2試合)

③ バレーボール

本来ならば、代表リーグ戦1回戦まで実施予定。場合によっては、2回戦まで行う可能性あり。

④ 軟式野球

本来なら、準々決勝4試合を行う予定だが、場合によっては、準決勝まで行う可能性あり。

※ ①②は決定。

※ ③④については、台風接近の状況を考えて、最終的には、当日(29日)判断

する。バレーボールは9:00(予定)に会場で、軟式野球は監督会議で、それぞれ参加校に伝える。

○ 7/29 (日)

態度決定実施

会長と確認(5:25) → HP掲載(予定どおり実施)

長崎地方气象台 夜中から朝方にかけて大雨 夕方までに警報がでる可能性は低い。海上にはでる
上記

③ バレーボール 代表リーグ戦2回戦まで行う。

④ 軟式野球 予定どおり、準々決勝4試合のみ。万が一、30日延期になっても31日に実施できると判断。

注) 万が一の場合、ベスト4による抽選もありうることについて念をおした。

HP アップ(9:00) ← 決定時間&監督会議(軟式野球)のため

☆ 明日の態度決定

※ 昼から夕方にかけて専門部と連絡調整。明日の対応を検討する。

① 軟式野球 別添写真

② 新体操 6:00解除されていれば通常実施

11:00解除なし→中止

11:00解除あり→15:00 or 選手が揃い、準備出来次第開始

③ サッカー 6:00解除されていれば通常実施

9:00解除なし→順延

★ 9:00に変更理由 各学校のためにも早く判断したい

9:00解除あり→12:00開始

- ④ バレー 12:00まで態度決定を延ばしてほしい
 ★ 試合数が少ないため、運営できる。役員、審判員確保のため、できるだけ順延したくない。
 12:00解除なし→順延
 12:00解除あり→3時間後を目処に試合開始
 ◎ 朝から警報がなければ、前日試合数を増やしているため12:00開始に変更。
- ⑤ 卓球 6:00解除されていれば通常実施
 11:00解除なし→順延、順延の場合、9:00～14:00短縮プログラム
 9:00解除あり→12:00開始
 11:00解除あり→解除から約2時間後を目処に試合開始
- ⑥ バスケット 6:00解除されていれば通常実施
 8:00解除なし→中止、2日目の結果で九州代表を決める
 ★ 8:00に変更理由 審判役員の確保が困難
 8:00解除あり→第1試合12:00開始 第2試合 15:00

☆ 関係郡市町に連絡、卓球以外は専門部から各学校へ。卓球は理事長を通して。
 注) 上記の件は混乱を招く恐れがあるため、HPアップなし。

○7/30(月)

態度決定実施 5:30～6:00

警報が解除どころかでなかった。よって、前日の計画どおり全競技実施→専門委員長と確認
 会長とも確認

↓

理事長連絡網で回す

※ 関係学校への連絡は専門部。卓球のみ理事長から各学校
 全競技の実施時間(内容)をHPアップ(6:00)完了